

項 目	選 考 内 容 等				
1. 共通事項	<p>1. 最終選考については各クラス協会が原案を作成、オリンピック特別委員会がそれを取り纏め、各クラス協会会長と協議のうえ決定、2007年2月24日(土)JSAF理事会の承認を得て修正公示</p> <p>2. 参加国枠を獲得したクラスについては、オリ特よりJSAF理事会に推薦、JSAFよりJOCに対してオリンピック参加を推薦する</p> <p>3. 各クラス共、クラス協会から推薦された選考レース最上位者を2008年北京オリンピック代表選手候補(チーム)として、オリンピック特別委員会よりJSAF理事会に推薦し、その承認を得てJOCに推薦する</p>				
種目	470級(男女)	レーザー級	レーザーラジアル級女子	RS-X級(男女)	49er級
2. 個別艇種別事項	<p><b>&lt;北京オリンピック代表選手選考の考え方&gt;</b> アテネオリンピックでの銅メダルに続き、メダル獲得が出来るチームを選考する。 北京オリンピックセーリング会場の青島は軽・順風のコンディションが予想される事から、同風域での国内選考レースと強風域が予想される2008年メルボルンで開催される世界選手権大会にそれぞれポイントを付与し代表チームを決定する。 この2シリーズの選考レースを実施する事により北京オリンピックでメダルの獲得が期待できると考える。</p> <p><b>&lt;北京オリンピック選考方法&gt;</b> 1. 選考大会 (1)1次選考 オリンピック代表国内選考兼NT選考レース、11月(広島) (2)2次選考 470級2008年世界選手権(08年1月オーストラリアメルボルン) 注1 <u>2008年にオリンピック参加枠を獲得する場合も同一選考方法とする</u></p> <p>2. 選考チーム数:(クラス別2008NT基本艇数と同一とする) 男子4チーム 女子3チーム 注2 <u>1.オリンピック代表チームはNTチームから選出されるものとする</u> <u>2.ランキングシステムA以上が存在する場合、選考チーム数はNTランキングシステムA以上のチームをマイナスしたチーム数とする</u></p> <p>3. 参加資格 (1)2007年オリンピックウィーク 男子20位以内、女子25位以内(総合順位から) (2)2007年全日本470級選手権大会 男子25位以内、女子30位以内(総合順位から) (3)2007年度NTランキングシステムA以上のチーム (4)470級クラス協会の推薦を受けたチーム</p> <p>4. 選考方法 別紙の第1次選考および第2次選考の成績別ポイントの合算</p> <p>5. 代表候補選手の推薦 上記4.の獲得ポイント最上位チームを2008年北京オリンピック470級代表候補(チーム)としてオリンピック特別委員会へ推薦する。</p> <p>6. その他 第2次選考レースには「オリンピック特別委員会」委員を派遣する</p>	<p><b>&lt;北京オリンピック選考方法&gt;</b> 1. 2007年世界選手権において北京オリンピック参加国枠を獲得した場合 (1)国内選考大会 2008年度NT選考大会兼レーザー級、レーザーラジアル級(女子)世界選手権代表選考大会(2007年12月神奈川県葉山沖) ア. 選考内容 ①2008年度レーザー級、レーザーラジアル級(女子)NT選手 ②2008年レーザー級世界選手権およびレーザーラジアル級(女子)世界選手権代表者 イ. 選考数 ①2008年度レーザー級、レーザーラジアル級(女子)NT選手数は「2008年度ナショナルチーム(NT)数の基準」による。 ②2008年レーザー級およびレーザーラジアル級(女子)世界選手権代表者数はILCA発表の日本レーザークラス協会に配分された世界選手権参加枠数による。 但し(3)特別規定記載の北京オリンピック参加国枠獲得者分の代表資格1を除いた数とする。 (2)最終選考大会 2008年レーザー級、レーザーラジアル級(女子)世界選手権大会 ・参加資格 2008年レーザー級、レーザーラジアル級(女子)世界選手権代表資格獲得者 (3)特別規定 北京オリンピック参加国枠獲得者に2008年NT資格および2008年レーザー級、レーザーラジアル級(女子)世界選手権代表資格を与える。 ・北京オリンピック参加国枠獲得者は2008年NT選考大会への参加は不可とする。 <b>*参加枠の増減に係わらず無条件で海外最終選考大会である世界選手権大会に参加出来るものとする。</b> ・ILCAからの参加枠に増減があった場合はNT選考大会の順位を使用する。</p> <p>2. 2008年に北京オリンピック参加国枠を獲得する場合 (1)国内選考大会 2008年度NT選考大会兼レーザー級、レーザーラジアル級(女子)世界選手権代表選考大会(2007年12月神奈川県葉山沖) ア. 選考内容 ①2008年度レーザー級、レーザーラジアル級(女子)NT選手 ②2008年レーザー級世界選手権およびレーザーラジアル級(女子)世界選手権代表者 イ. 選考数 ①2008年度レーザー級、レーザーラジアル級(女子)NT選手数は「2008年度ナショナルチーム(NT)数の基準」による。 ②2008年レーザー級およびレーザーラジアル級(女子)世界選手権代表者数はILCA発表の日本レーザークラス協会に配分された世界選手権参加枠数による。 (2)最終選考大会 2008年レーザー級、レーザーラジアル級(女子)世界選手権大会 ・参加資格 2008年レーザー級、レーザーラジアル級(女子)世界選手権代表資格獲得者 (3)特別規定 ・ILCAからの参加枠に増減があった場合はNT選考大会の順位を使用する</p> <p>3. 代表候補選手の推薦 2008年レーザー級世界選手権、レーザーラジアル級(女子)世界選手権大会の最上位の選手を北京オリンピック代表候補と認定し日本セーリング連盟オリンピック特別委員会へ推薦する。</p>	<p><b>&lt;北京オリンピック選考方法&gt;</b> 1. 2007年に国枠獲得の場合(男女) 2008年1月に行われる予定のRS:X級世界選手権大会での日本人最上位の選手を日本代表としてオリンピック特別委員会へ推薦する</p> <p>2. 2008年に国枠を獲得する場合(男女)2008年1月に行われる予定のRS:X級2008世界選手権大会で国枠が獲得でき、その大会での日本人最上位の選手を日本代表としてオリンピック特別委員会へ推薦する</p> <p>1. 2ともオリンピック代表候補選手はNT選手から選出されるものとする。 但しNT選手以外が2008世界選手権大会でメダルレース出場権(10位以内)を獲得し、その総合成績がNT選手より上位の場合は日本代表候補として推薦する。</p> <p>3. 2008年NT選考 2007年に国枠を獲得した選手については、08年NT選手資格と2008年RS:X級世界選手権出場権利を与える。</p> <p>(1)選考大会 2008年RS:X級ナショナルチーム(NT)選考レース</p> <p>(2)選考数 男子3艇(2007年国枠獲得の場合2艇) 女子2艇(2007年国枠獲得の場合1艇) 但し、2007年世界選手権大会の成績によりNT数の増加があった場合はその数まで選考とするが、選考レース参加艇数により辞退する場合がある。</p> <p>(3)参加資格 ア.2007年RS:X級全日本選手権大会10位以内の男子選手 イ.2007年RS:X級全日本選手権大会参加の女子選手 ウ.日本ウィンドサーフィン連盟の推薦選手 エ.2007年に国枠を獲得した選手の、出場は認めない。</p> <p>4. 最終選考 上記、1. 2記載の通り</p>	<p><b>&lt;北京オリンピック選考方法&gt;</b> 1.北京オリンピック日本代表選考レース 2008年1月オーストラリア・メルボルンで開催される世界選手権において日本出場チーム中の最上位チームをオリンピック代表チームとして推薦する。</p> <p>2. オリンピック代表選考レースへの参加資格 ・2007年49er全日本選手権に出場したチーム</p> <p>3. 代表候補選手の推薦 上記選考による上位者を2008年北京オリンピック49er級代表候補チームとしてオリンピック特別委員会へ推薦する。</p>	
3. 日本で選考レースを行わない艇種(イングリング、スター、トーンード、フィン)	<p>&lt;共通事項&gt; 1. 共通事項1. および2. に同じ &lt;個別事項&gt; 1. 2007年に国枠を獲得した場合でも、獲得者を代表とはしない 2. オリンピック代表は2008年世界選手権大会における日本選手の最上位者を代表候補選手(チーム)としてオリンピック特別委員会よりJSAF理事会に推薦し、その承認を得てJOCへ推薦する</p>				